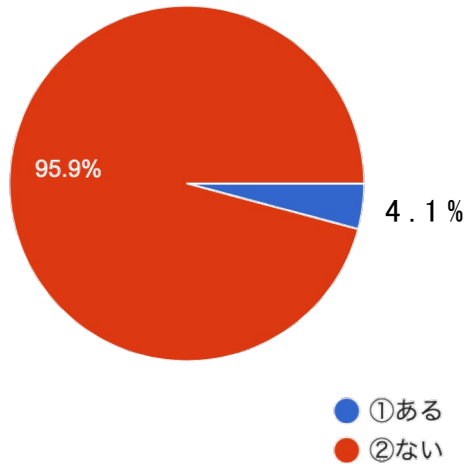


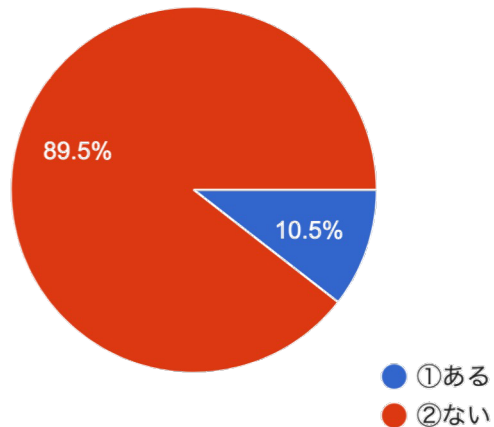
Q 2 3. 相談窓口で相談したことはありますか

266 件の回答



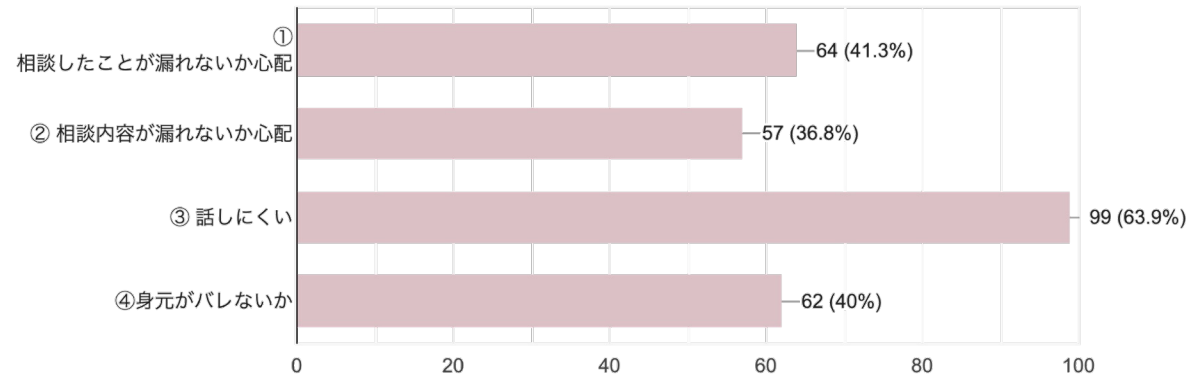
Q 2 5. カウンセリングを受けた事がありますか

266 件の回答



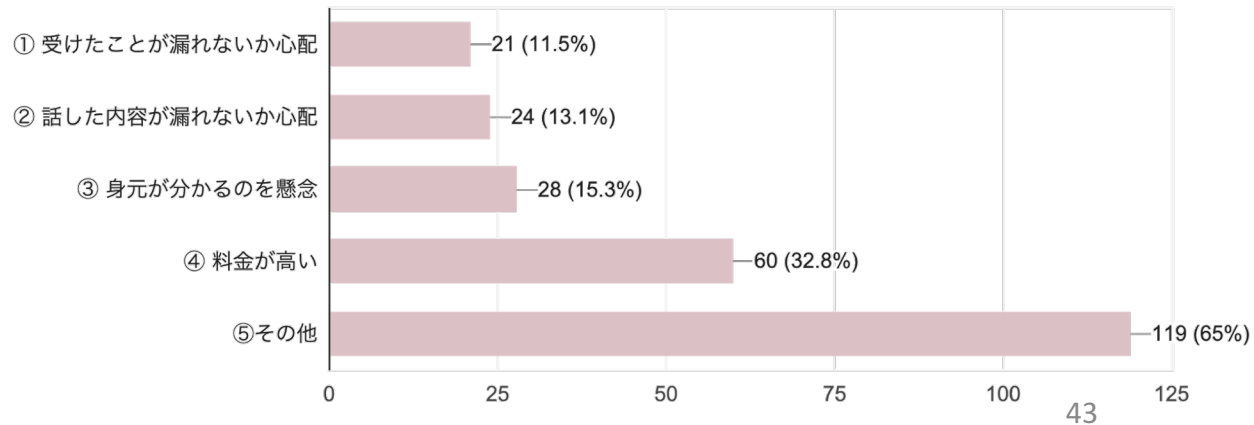
Q 2 4. 相談窓口で相談しにくい理由は以下にありますか（複数回答可）

155 件の回答

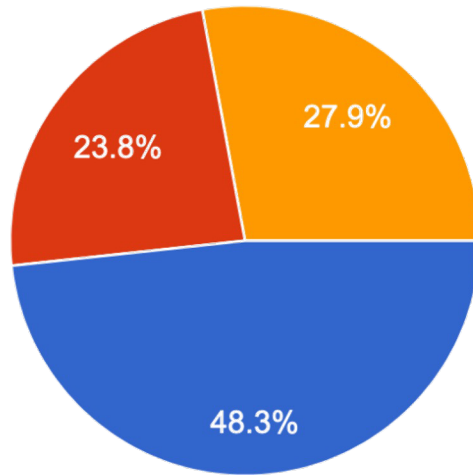


Q 2 6. カウンセリングを受けない理由はどれですか（複数回答可）

183 件の回答

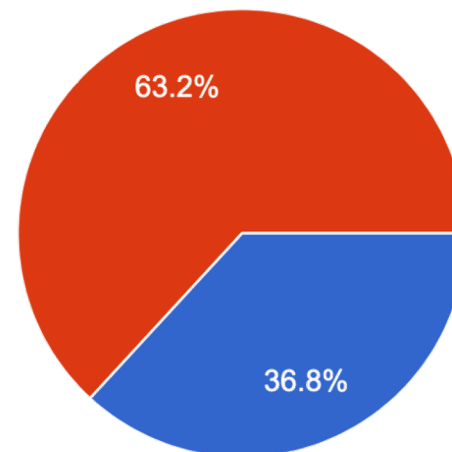


Q20. 仕事中にハラスメントを受けたことがありますか
265 件の回答



- ①ある
- ②見聞きした
- ②ない

Q21. 仕事が原因でこのままでは生きていけないと思った事がありますか
266 件の回答



- ①ある
- ②ない

Q26-2. 安全衛生について思うことをお書き下さい 59件の回答①

1. そのものが業界では欠如している。今でも年配者は若い頃は...と謎のブラックなマウントがある。
2. 心配
3. 芸能業界で統一したルールがない。現場によって違うので曖昧？
4. 思ってるだけでは何も改善されず
5. エンタメ業界単独で安全衛生に取り組みつつ予算をおさめていくことは難しい。国民全体の意識と労働形態の底上げを図るため、ある程度の国の保護が必要と思う。
6. 外部スタッフは所詮、外の人(笑)
7. 実務に即していない専門外の者が作成したチェックリストは事故を招く
8. 用意してもらった弁当の保存方法と食べるタイミング
9. 発注主にもっと費用をかけてほしい
10. コロナだから、消毒衛生班 換気班などがあつたらいいと思う
11. 関係者の意識の低さに問題がある
12. 安全については自己責任という悪い習慣が業界に根付いていると思います。
13. この御題目で仕事を進めると仕事にならない事がある。
14. 学ぶことは必要
15. 40年以上仕事をしてきて、スタッフに女性がふえたにも関わらず、トイレや更衣室が劣悪な状況は昭和から平成、令和になってもなにもかわっていない。どんなに新しいホールが建設されても結局この部分に何も考えが及んでいない。
16. 製作費の充実と現場環境
17. 徹底して欲しい。
18. 夜はちゃんと寝て、仕事でもちゃんと休憩を取ろう。
19. 現場単位でハラスメント講習等を必須にするべき。またもしハラスメントが人知れず起きた時、どこに何をどう言えばいいのかが分かるよう窓口等を明確に設置し周知する必要がある。
20. 他人事ではなく各自がきちんと考えて行動する
21. 少しずつでも改善されてきていると思います
22. 20年前は皆さん無関心でした
23. 携わる業務内容によっては率先して安全講習を受講すべき
24. 正しい知識を持って管理してくれる人がいない。
25. 屋外の現場などはどうしても安全衛生管理が杜撰になる
26. ガイドラインがない、または徹底されてない
27. 正しく理解しているひとがいなさそう
28. 全てに於いて独自のルールが多く、音響・照明・舞台及び表方全てが持つ日本全国共通のルールブックが必要だと思います。
29. 自己責任になっているのを感じる。しかしそのことについて深く話す場がないので、よくわからない。
30. 現場スタッフのみならず、経営者側にまず受講してもらい意識改革が必要
31. 安全器具のチェックの徹底
32. 思う事が多過ぎて回答不可です

Q26-2. 安全衛生について思うことをお書き下さい 59件の回答②

1. 相談窓口の少なさ。
2. とび職以下の環境だと思う
3. 自己管理、自己責任の不文律が横行している
4. 夏や高温場所での食事など
5. 時代が先駆的なのか自分が遅れているのかわからないが、ハラスメントだと気付かない。自分が嫌な気持ちになっても我慢する、やり過ごす事に慣れている。ただ、自分はそうして来たから後輩や友人にも「そうしろ」とは絶対に言わない。
6. 相談窓口がある事すら知りませんでした
7. 短時間で高クオリティを求められる、プロばかりだと安心だが、そこにアルバイトさんが入ると不安を感じる。コスト削減では無くプロのスタッフを増やして欲しい。
8. 上の立場の人やクライアントがもっと理解してほしい
9. 現場によってあまりにも環境が違うので、なかなか共通のガイドラインを作りにくいように感じます。
10. 低予算作品において安全衛生という概念が存在しない。
11. 職長教育を受けても実務上機能していない
12. 偏った意見かもですが、怪我はしたくないのである程度安全にするが、後は自己判断。いちいち人に確認も取れないなとも思う。
13. カウンセリングや相談窓口が、どこにあるか分からない。もっと広めて欲しい。
14. お金を出して発注する大元が「安全衛生」について理解し、遂行されているか、遂行可能なのかをきちんと把握して企画して欲しい。国の元の理想と現場の現実がマッチングされていない。
15. 今の情勢ではコロナ禍の感染拡大防止についてです。所属する会員やメンバーが感染しているので、ステルスオミクロンにはどのように対処すればよいか、不安があります。
16. どの会社も、必須にすべきだと思う
17. 無理な仕事は受けないようにしている
18. 空気は悪いし食事はまずい。良くしようという気概は感じる。
19. 広く知識を持った人が増えると良いと思う
20. 最低限の人間扱いをしてほしい。労働基準法違反の現場が多すぎる。
21. 安全で衛生的な環境を作るのは当然で、加えて重要なのはその周知。
22. 夏場に、お弁当の配達から食事まで時間が経ったモノを食べなければいけないこともあり、怖くて食べなかった
23. プロデューサーが理解していない
24. 音響の業界は特に遅れていると思う。個人ではなかなか出来ないのではやはり組合的なものは必要だと思う。
25. 安全衛生管理の責任者について周知徹底がなされていない。また制作主体の責任の所在が不明確。安全衛生管理はプロデューサーや制作会社であれば、意思決定の権限や責任を負うに見合った報酬があるべき。実態は、権限も報酬も不十分な状況で責任だけ課される状況である。制作者の過重労働、過剰な責任負担が課題。
26. 無理な仕事量を職人として時間内にこなしてきたしわ寄せとして、クリアできたスケジューリングの作業は同じ時間で作業可能とされています。現場によってはスレスレのスケジュールに追われ簡単に事故の加害者や被害者になるリスクを感じながら仕事をしています。現状を見ている若手は明らかに業界のリスクを感じそのせいで離職率が高い状況にあると思います



Arts Workers Japan

一般社団法人日本芸能従事者協会

芸術・芸能の仕事に従事するすべての方と、日本の文化の発展をともに考え、実現していくための協会です。

代表理事 森崎めぐみ
設立日 令和3年9月
URL: <https://artsworkers.jp>

東京労働局承認

全国芸能従事者労災保険センター

あらゆる業種の芸能従事者のための、政府労災の加入窓口です。
全国の加入者の方々とともに、安全対策をしています。

理事長 森崎めぐみ
設立日 令和3年4月
URL: <https://geinourousai.org>

